

岩倉市立岩倉北小学校



創 立 明治6年9月

郵便番号 482-0043

所 在 地 岩倉市本町南新溝廻間2番地

電話番号 (0587) 37-1221

F A X (0587) 37-9511

U R L <https://iwakura.schoolweb.ne.jp/2310075>

E-Mail iwakurakita-e@iwakura.ed.jp

1 教育目標 (校訓) (目指す児童像)

- 正しく - 自らを律し、深く考え、粘り強く学ぶ子
- 強 く - からだを鍛え、心身ともにたくましい子
- 仲よく - 礼節を重んじ、他を思いやる心豊かな子

2 経営方針

わたしとあなたとみんなの学校
誰もが主人公となり育ち合う学校づくりの推進

ア 教えひたる教師・学びひたる子ども

- 学習指導要領の趣旨を踏まえ、今日の学びが明日の学びにつながり、これから先の豊かな人生へとつながっていくような、質の高い学びづくりに努める。
- 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら判断して行動しようとする、確かな学力を育成する。
- 教師自身が力量向上に努め、子どもとともに育ち合おうとする職員集団を目指す。

イ しなやかでやわらかであたたかな子ども

- 自己を見つめ、粘り強く前向きに行動しようとするしなやかさを養う。
- 「笑顔プラス」を合言葉に、自分だけでなく他者も大切にしようとするやわらかであたたかな関係づくりを目指す。

ウ つながる学校

- 学校運営協議会を設置し、地域と学校による協議に基づいて学校運営を推進する。
- 地域学校協働活動を推進し、地域の活動拠点として社会に貢献できる開かれた学校、地域社会と積極的に連携しようとする学校を目指す。

3 本年度の重点努力目標

ア 授業を大切にする

- 全員の学びと向上の変容を約束する授業づくりに努める。
- 仲間と協働して学び合おうとする子どもを育てる。
- 研修の充実を図り、新しい知との出会いを保障する「学びがいのある学び」を追究する。

イ 日常を大切にする

- 人間関係づくりを重視し、安心できる居場所としての学校を目指す。
- 児童会活動、清掃、給食など日常の教育活動に丁寧に取り組み、言葉を大切にされた指導を進め、豊かな人格形成を図る。
- チャレンジ活動、ペア交流等の活動を充実させ、よりよい人間関係づくりに努める。
- 「INK(いじめのない北小)」を宣言し、教育相談活動や人権教育、道徳教育の充実を図る。
- 家庭と協力し、食事や睡眠などの規則正しい生活習慣を身に付けさせる。

ウ 行事・児童会活動を大切にする

- 学習成果の発表や心身のさらなる成長の機会とし、意図的・計画的に実践する。
- 企画、準備、運営等に、児童や保護者の積極的な参画を促す。
- 異学年、全校、保護者、地域が交流する場と位置付け、人間的成長を図る。

エ 地域を大切にす

- 地域活動や地域行事への参加を促すとともに、活動拠点として学校施設の活用を図る。
- 地域の各団体や諸機関との連携を図り、教育活動への協力・支援体制を構築する。
- 地域の幅広い分野から学校に関する意見や評価を聴取し、積極的に学校運営に取り入れる。

オ 教職員の思いを実現する

- 夢を語り合い、自己が描く教職員人生を実現できる学校を目指す。
- 働き方改革により業務改善を推進し、働きやすさゆとりのある職場環境づくりを目指す。

4 本校の特色

本校は明治6年創立、153年目を迎えた児童数667人、学級数29（うち特別支援学級7）の大規模校である。近年都市化が進んでいる岩倉市の中心部に位置し、地域の学校教育への高い関心と協力で支えられ、日々教育活動に取り組んでいる。

本校では、平成25年に研究委嘱を受託したことを機に、子どもの学びを広げる授業づくりに継続して取り組んできた。今年度からは、研究テーマを「学びひたるー三位一体の学び（TDL）を実現するー」と定め、三位一体（「新しい知と出会う」「自己を見つめる」「他者と学びを調整する」）の3つの軸を大切に、個の学びの更なる質的向上を目指して研究を推進する計画である。昨日までの自分が、今日新しい知と出会い、自分の世界を広げ、明日の新しい知と出会う機会を、どの子にも保障する授業づくりに努めている。このような授業を実現するために、授業づくりの心構えとして、①全ての子どもに学ぶ権利を保障する授業、②確かな授業力に支えられた質の高い授業、③年間を通じた一定水準以上の授業を設定し、校内研修に取り組んでいる。

また、本校では「笑顔プラス」を合言葉としている。この言葉には、他者との関係性を豊かなものにしていく象徴的な意味が込められている。「笑顔プラス」は学校生活のあらゆる場面で活用され、子どもたちの中に根付いたものとなっている。

令和2年度に制作した『笑顔プラスの歌～笑顔でコロナを吹き飛ばせ～』は、新型コロナウイルス感染症の影響で教育活動が大きく制限される中、少しでも児童を笑顔にしたいという思いで制作したものである。この歌は、歌詞の言葉を子どもから集め、それをもとに音楽担当が作曲した。現在では、本校のテーマソングとして子どもたちに浸透し、親しまれている。

学校行事や子どもたちが学習にかかわる場面では、子ども相互、保護者や幼稚園・保育園児、中学生、地域の人たちとふれあう機会を設け、心豊かな児童の育成を図っている。子どもたち相互のふれあい活動として、ペア学級を基本とした交流活動に取り組んでいる。また、読み聞かせやあいさつ運動など委員会活動においても異学年交流を行っている。交流を通して仲間づくりだけでなく上級生が下級生に、行事に対する思いやマナーを伝えることで、岩倉北小学校の文化の継承にも役立っている。

P T Aやボランティア活動など保護者や地域の協力も盛んである。平成20年度より、環境教育の一環としてP T Aと子どもたちが一緒になってアルミ缶収集活動を実施している。図書館ボランティアの活動では、時季に応じた環境整備や工夫を凝らした読み聞かせなどが定期的に行われており、子どもたちの読書習慣の育成につながっている。また、地域の歴史的文化についての学習にも、山車やからくり人形の実物に触れたり、新溝神社の祭礼について詳しい解説を聞いたりするなど、地域の協力により貴重な体験が得られている。このように、地域や保護者の理解と協力が本校を支える大きな柱となっている。

令和5年度は創立150周年にあたり、各学級で150周年を祝う活動やドローン撮影、演劇鑑賞を実施した。また、本校卒業生の書道家、粟津紅華氏より「笑顔の花咲く」の書も寄附された。

令和6年度より、学校運営協議会が設置され、児童の健やかな成長のための活動を日々推進している。